株式会社キットブルー
設立概要書

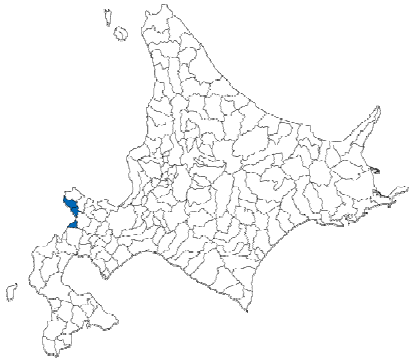
平成２９年１０月１日

積丹半島地域活性化協議会
（事務局：神恵内村）

積丹半島地域活性化協議会

●神恵内村・岩内町・泊村の３町村、古宇郡漁協・岩内郡漁協の２漁協で構成
●地域商社として設立されるキットブルーの「母体」（事務局：神恵内村）

事業の背景と目的



●積丹の町村連携による地域商社事業
～ナマコとウニから始まる輸出拡大、戦略的な生産体制の確立～

・３町村の漁業環境は、回遊性資源の減少をはじめ、磯焼けの進行による藻場の減少で浅海資源の減少も著しく、厳しい漁業経営状況
・一方で、ナマコは近年中国における需要拡大・単価高騰が継続しており、特に後志管内のナマコは道内他地域と比較しても高価格で推移
・このため、３町村の連携によるナマコ養殖技術の確立のほか、**漁業者の所得向上や後継者問題の解決などを目指して、この地域商社事業を推進**

昨年度事業からの流れ

●協議会にて、中国などを念頭に置いたマーケティングなどを含めた地域商社のプランニングとナマコの機能性を活かした製品開発等の事業を実施
●これらに基づいて地域商社「(株)キットブルー」を設立

〇地域商社は、今年度は３町村による構成として外部協力者の体制強化を図るが、来期以降はこれら協力者の経営参画なども念頭に置き、今後早急に中長期計画の策定に着手
〇昨年度事業結果を踏まえ、今年度は以下の視点から検討・実施
・乾燥ナマコは価格面での競争が困難なことから、特に中国向けには越境ＥＣなどの利活用を念頭に置いた「直販」を検討・実施
・中国では「即食」と呼ばれるボイル製品が普及していることから、国内レストランなどを含めた販売や営業を検討・実施
・昨年度はナマコの優れた機能性成分を活用した美容ジェルやサプリメントなどを試作したが、引き続き中国などでの販売を見込んだフェイスマスクなど関連製品の開発や試験販売のほか、安価な原料として活用可能なアカナマコなどの成分分析を実施
・国内販路としては、札幌や東京などの飲食店向け工作はもちろん、特にニセコ周辺のインバウンド客をターゲットにした販売等も検討・実施
・ナマコとウニだけでなく、今後様々な魚種も対象にしていくほか、ブランド化に向けた情報発信やトレーサビリティ、岩宇ＤＭＯなどとの連携なども検討・実施

株式会社キットブルー

※ Blue は海や積丹ブルー、水産品などを連想

株主総会
- 神恵内村
- 岩 内 町
- 泊　　村

K amoenai
I wanai
T omari

積丹半島地域活性化協議会

監査役会：２名
- ●北海道銀行岩内支店長　元村　悟
- ●北洋銀行岩内中央支店長　原田　敬士

※ 敬称略

取締役会：３名
- ●神恵内村　副村長　池田　幸雄
- ●岩内町　副町長　猪口　仁
- ●泊村　村　長　牧野　浩臣

代表取締役
- ●神恵内村　副村長　池田　幸雄

本社：神恵内村
職員：今年度は２名体制

連携・協力

主要協力者（予定）

古宇郡漁業協同組合
ナマコ・ウニなど地元水産品供給

岩内郡漁業協同組合
ナマコ・ウニなど地元水産品供給

阿部水産
乾燥ナマコなど

※地元企業など
各種加工、販売支援など

※その他企業など
国内外販路開拓など

いずみホールディングス
国内外販路開拓・各種加工など

クール北海道
海外販路開拓・輸出支援

北海道マーケティング総研
製品開発

道銀地域総合研究所
事業コーディネート

沿海調査エンジニアリング
出向など含めた各種事業運営支援

さかずきテラス
本社に次ぐ拠点化、観光などとの連携

キットブルー

神恵内村
岩 内 町
泊　　村
資本金10百万円

設　立：平成２９年１０月１日（決算期３月）
役員数：３名（うち代表取締役１名）
社員数：２名（予定）
本　店：北海道古宇郡神恵内村大字神恵内村１５番地１６

※今年度直接実施する事業
- 道内外商談（営業）
- 海外商談（営業）
- 各種販路開拓事業
- 製品開発事業
- 来年度以降の事業計画策定
- 以下の事業運営　など

外部協力者と連携して実施

製品開発・製造

※ボイル製品・ゼリー製品試作、美容品試作、パッケージ開発、
原料として想定しているアカナマコなどの成分分析
その他試作品・サンプル等製造　ほか

海外販路開拓

※越境ＥＣサイト構築・テストマーケティング、中国テスト販売
（実売）、各種通関手続き　ほか

国内販路開拓

※ニセコ及び札幌、道外方面など販路開拓　ほか
※ニセコなどを核として定常的にルート配送を行いながら、販路開拓
を行う実証事業も試験的に実施予定

情報発信事業

※企業案内などの作成（含むＣＩ）、ウエブサイト構築、
宣伝ツール（含むサンプル）制作　ほか

ＰＲ事業展開

※イベント・商談会等参加、シェフによるメニュー開発、
地元商材による各種フェア、ディナー会等開催　ほか

今後拡大

現地買付

●ナマコ買付：250キロ（予定）
※乾燥ナマコ、ボイルなど売却想定先含め調整中
※機能性を活かした製品開発用原料は別途購入（アカナマコなどを想定）

●ウ　ニ買付：500キロ（予定）
※塩水・折りなどでの販売を想定
※端境期となる年末販売に向けて調整中